



共同声明



Xiao Jianhua (IAF議長), Etty Feller (ILAC議長)



Xiao Jianhua

世界認定推進の日2020 (#WAD2020)

認定：食品の安全性を高める

世界認定推進の日2020では、食品の安全性の強化に関する認定に焦点を当てています。



Etty Feller

認定には非常に明確な目的があります。この目的とは、認証機関、検査機関、試験機関、校正機関、臨床検査室といった適合性評価機関（CAB）が必要とされる技術的能力を備え、且つ公平に運営していることを企業、エンドユーザー、規制当局に保証することです。認定機関は、国際基準と国際要件を基にこの能力を評価します。

認定を単に食品に適用するだけで、食品の安全性の強化に役立つのです。

2019年の世界認定推進の日では、サプライチェーンの付加価値に関する認定の役割を強調しましたが、2020年の世界認定推進の日は食品の安全性の強化における認定の役割に焦点を当てています。

農場から家庭に至る、食品の生産、加工、包装、保管、輸送、小売、ケータリングを通じた食品サプライチェーン全体で認定を活用し、サプライチェーンの各段階での保証の層を積み重ねていくのに役立つのです。

認定機関は、国際標準化機構（ISO）及び国際電気技術委員会（IEC）などの国際機関で開発された基準に基づいて、CABの多種多様な機能を評価します。これらの基準は、検査、認証、試験などの機能をカバーしています。国際基準で認定された検査機関、認証機関、および試験所は、国内の一部の地域、国内全域、および国際的な食物連鎖のすべてに能力のある公平な検査、認証、および試験サービスを提供できることを、認定機関が独立してチェックしているのです。

2019年4月、国連食糧農業機関（FAO）、世界保健機関（WHO）、世界貿易機関(WTO)¹が公表した共同声明では、食中毒に罹った人に対する被害を強調しています。認定は、食品サプライチェーンの能力を強化させて食中毒の発生低減を支援することを目的としているのです。認定は、この目標達成を支援するために世界中で、活用されています。例えば、オーストラリアでは肉と魚介類の供給のためのプライム・セーフ（Primesafe）制度で認定された認証を使用し、ヨーロッパ連合ではヨーロッパの食糧安全保障を支援するために試験所認定を使用し、フランスでは商業用ケータリング施設がより安全な食品提供するための支援に認定された検査を使用しています。

認定による食品安全の強化を謳う2020年世界認定推進の日は、食品安全という一つの領域において、認定がSDGs、中でも「3 すべての人に健康と福祉を」にどう貢献するかを示すことを目指しています。2020年の世界認定推進の日は、安全な食品の必要性に焦点を当てることを目的とした第2回世界食品安全の日²の2日後です。認定機関と認定された認証機関、検査機関、試験所を通じて、適合性評価コミュニティは、安全な食品の提供を支援するために継続的に努力しています。

2020年世界認定推進の日では、国際認定フォーラム（www.iaf.nu）、国際試験所認定会議（www.ilac.org）、およびそれらの会員機関が、認定を使って食品の安全性をどのように強化しているのかを強調します。IAFとILACは、食品の安全性の強化における認定の役割を説明するために下記URLでさまざまな情報を提供しています。

<https://publicsectorassurance.org/topic-areas/food-safety-agriculture/>

詳細については、最寄の認定機関にお問い合わせください。

http://www.iaf.nu/articles/IAF_MEMBERS_SIGNATORIES/4 and <https://ilac.org/ilac-membership/>

その他の事例、調査結果、必要な資料は、次のWebサイトで入手できます。

<http://www.publicsectorassurance.org/topic-areas/health-safety/>

¹ https://www.who.int/docs/default-source/resources/joint-statement.pdf?sfvrsn=61b890c4_16

² <https://www.who.int/news-room/initiatives/world-food-safety-day-2020>

